

まごころ心ちゅう

vol.

07

2019.02 発行
府中病院 広報誌



2018年12月 病院機能評価受審

- 01 人紹介 「慢性心不全看護認定看護師ってどんな人？」
- 03 医療特集 「糖尿病」
- 05 部署紹介 「超音波検査室」「企画室」
- 09 府中病院の取り組み紹介 「血液検査の結果の見方、知っていますか？」
- 10 トピックス 「オープンホスピタル 2018・病院機能評価受審」のご報告



慢性心不全看護認定看護師ってどんな人？

府中病院ではいろんな職種のスタッフが働いています。
今回は慢性心不全看護認定看護師を紹介させていただきます。

慢性心不全看護認定看護師

経歴

- 1999年3月 看護師免許取得
- 2014年4月 府中病院入職
- 2015年 慢性心不全看護認定看護師資格取得



インタビュー

慢性心不全看護認定看護師の仕事とは？

心不全患者さんは、日常生活において、食事や水分、活動など制限されるため、療養生活を送ることは簡単なことではありません。心不全患者さんやそのご家族が心不全という「病い」と折り合いをつけながら、その人らしく生活するために、生活調整をするお手伝いをすることが、慢性心不全看護認定看護師としての役割です。また、心不全看護の質向上のために、法人内や院内でのスタッフ教育も大切な仕事の一つです。

この資格を取得したきっかけは？

心不全は増悪と寛解を繰り返しながら終末期を迎えます。寛解し退院しても、またすぐに再入院してしまう患者さんを見て、自分が行っている看護に疑問を持ち、その疑問を解決することができず、悶々としていたこと、そのとき、一緒に働いていた集中ケア認定看護師の活動を近くで見っていたことも大きなきっかけとなりました。認定看護師の資格を取得する道りは大変でしたが、認定看護師教育を受講することで、抱いていた疑問を解決することができました。

やりがいを感じる時は？

やりがいを感じる時は、再入院をせず、元気な姿で病棟にきてくださる患者さんの姿を見た時です。自分の行っている看護に疑問を持ち悶々としていた時とは違って、問題を解決するための方法を身につけたことで、より看護師としての仕事に誇りを持てるようになりました。上手いかわからないことも沢山ありますが、そんな時、上司から言われた「近藤さんが認定看護師として、本当にやりたかったこと、それを忘れないように」という言葉を思い出し、原動力にしています。認定看護師の資格を取得したことで、活動の幅が広がり、多くの職種の方と連携することができるようになりました。心不全患者さんやそのご家族の方への支援が広がっていると感じる時が嬉しい瞬間です。

慢性心不全看護認定看護師の一日

出勤

- 電子カルテチェック（新入院や気になる患者さんの情報収集）
- 9:00～ ミーティング
退院支援カンファレンス参加
- 10:00～ 保清など病棟のケア

月曜日
と
木曜日

昼食

12:00～

- 13:00～ 病棟カンファレンス（入院時カンファレンス）
- 14:00～ 心不全患者さんのもとへ（指導状況の確認）
- 15:00～ 心不全ケアチーム会

第1・第3
木曜日

帰宅



小学6年生への授業の様子

近隣小学校への生活習慣病の授業や
地域住民の方々への
出張講座の講師でも活躍しています！



心不全ケアチームの活動について

2017年10月心不全ケアチームを立ち上げました。

循環器内科医師、看護師、薬剤師、理学療法士、管理栄養士、医療ソーシャルワーカーだけでなく、企画室、医療情報課など、多職種によるメンバーで構成されています。活動日は第1・3木曜日です。心不全地域連携パス（病々連携）の運用や、多職種カンファレンスを開催し多くの課題に取り組んでいます。新たに、心不全教室を開催することも決まりました。臨床心理士もチームに加わり、体制が整いつつあります。チームビルディングを成功させ、心不全患者さん及びそのご家族の方へ絶え間ない支援を行えるように今後も活動していきたいと考えています。



他施設の方々との連携会議の様子



糖尿病とは

糖尿病はインスリン作用不足に基づく慢性高血糖状態を主徴とする代謝疾患群です。

病態には、インスリン分泌不全とインスリン作用の障害（インスリン抵抗性）があり、成因は多様であり、遺伝因子と環境因子が大きく関与しています。成因により大きく、1型糖尿病、2型糖尿病、特定の機序・疾患に伴うその他の糖尿病の3つに分類されます。治療は食事療法、運動療法が基本であるが、経口糖尿病薬やインスリン注射が必要な場合もあります。

糖尿病の症状

多くの場合（軽症の場合）には高血糖に伴う症状（口渇、多飲、多尿、体重減少など）がないことが多いです。しかしながら、血糖が異常に高く重篤な場合には昏睡（糖尿病ケトアシドーシス、高浸透圧高血糖症候群）に陥ることもあります。自覚症状が無くても、血糖値が高い状態が続くと、気づかぬうちに全身の血管が障害され、**さまざまな合併症が起こります**。糖尿病特有の「**細小血管障害**」が出現します。

代表例が網膜症、腎症、神経障害の「三大合併症」です。網膜症は失明に、腎症は腎不全引いては人工透析の必要な状態に、神経障害は足先などの痺れ、麻痺、壊疽が起こすこともあります。また大血管障害（動脈硬化）が促進され、心筋梗塞、脳梗塞、壊疽、下肢閉塞性動脈硬化症の発症もよく見られます。

糖尿病の合併症

慢性合併症	細小血管障害	} 三大合併症
	<ul style="list-style-type: none"> 糖尿病網膜症 糖尿病腎症 糖尿病神経障害 	
	大血管障害	
急性合併症	<ul style="list-style-type: none"> 脳梗塞 狭心症、心筋梗塞など 閉塞性動脈硬化症 	}
	その他	
	<ul style="list-style-type: none"> 糖尿病性足病変 歯周病 認知症 	
	<ul style="list-style-type: none"> 糖尿病ケトアシドーシス 高浸透圧高血糖症候群 感染症 	

糖尿病の治療

治療の3本柱は食事療法、運動療法と薬物療法です。そして食事療法、運動療法は基本の基本です。食事はなるべく3食3等分に、そしてバランスよく食べ過ぎず少なすぎず食べましょう。その次に薬物療法の出番です。そしてできれば毎日の自己管理療法が正しいかどうかを「自己反省する」意味からも自己血糖測定をしてみるのもいいでしょう。薬を1つ減らすことができるかもしれません。受診も定期的に行い、合併症を早期に見つけ治療を受けましょう。血管を健康な状態に保つためにも、血流を悪化させるタバコなどは禁止しましょう。



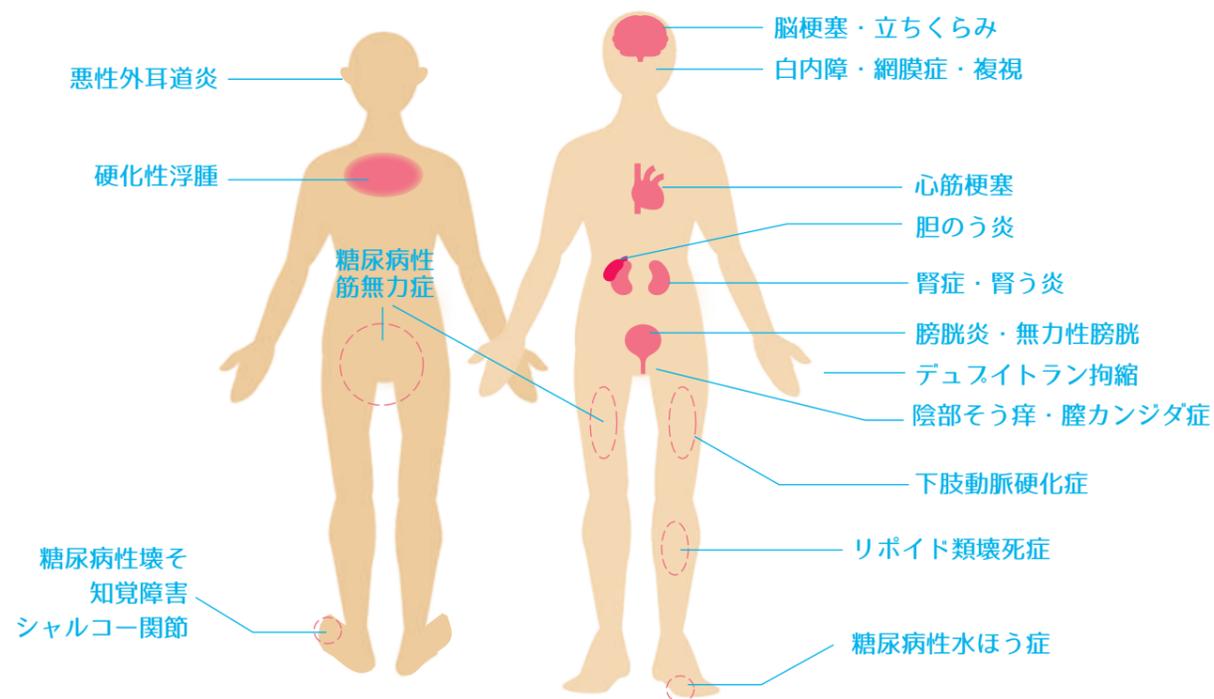
糖尿病で医療機関を受診した場合には必ず「**日本糖尿病協会発行の糖尿病療養連携手帳**」を発行してもらい、この手帳を活用しましょう。

糖尿病は治りますか？

「治りません」。「そんな冷たいことを言って無責任な」とおっしゃるかもしれませんが、糖尿病は病気というよりは体質なのです。また同じ糖尿病と言っても皆全く同じ状態ではなく、10人それぞれ少しずつ異なります。自分の体質を知ってその体質に合った日常生活をしなければなりません。そしてすべての人にとっては食事療法、運動療法は基本です。時には飲み薬やインスリンと言う注射療法の助けを借りる必要があります。だからその体質に合った日常の工夫が大切で、毎日の日常生活の中に取り入れなければいけません。そして血糖、血圧、脂質代謝異常の改善、肥満の解消が合併症を防ぐことができるのです。

糖尿病を放っておくとどうなる？

血糖値が高いままの生活を続けると、全身の血管がもろく、ポロポロになってしまう病気です。全身の細胞の機能も低下し感染に対しても抵抗力がなくなり肺炎、尿路感染、歯周病なども引き起こします。前述した合併症以外にも全身にいろいろな障害が起こってきます。（下図参照）



医師（日本糖尿病学会認定専門医、同指導医）、糖尿病療養指導士を含む看護師、管理栄養士、薬剤師による**チーム医療**を行っています。

また、外来および教育入院患者さんに、隔月で定期的に糖尿病教室を開催しています。今後の開催予定はホームページまたは院内ポスターをご確認ください。



糖尿病センターセンター長
日本糖尿病学会糖尿病専門医
山田 正一

ちょうおんぱ けんさしつ 超音波検査室のおしごと

府中病院の超音波検査室は、3名のスタッフが働いています。

腹部(肝臓、胆嚢、胆管、膵臓、腎臓、脾臓、膀胱、生殖器、消化管、リンパ節、腹部血管など)や体表(甲状腺、リンパ節、皮下、筋肉、関節、骨、鼠径、陰嚢など)のエコー検査をしています。

「超音波検査って?」

超音波とは、人の耳には聞こえない高い音のことを言います。超音波の反射波を画像化して病気の有無を検査しています。魚群探知機が同様の原理です。

当室は2台で運用しています。

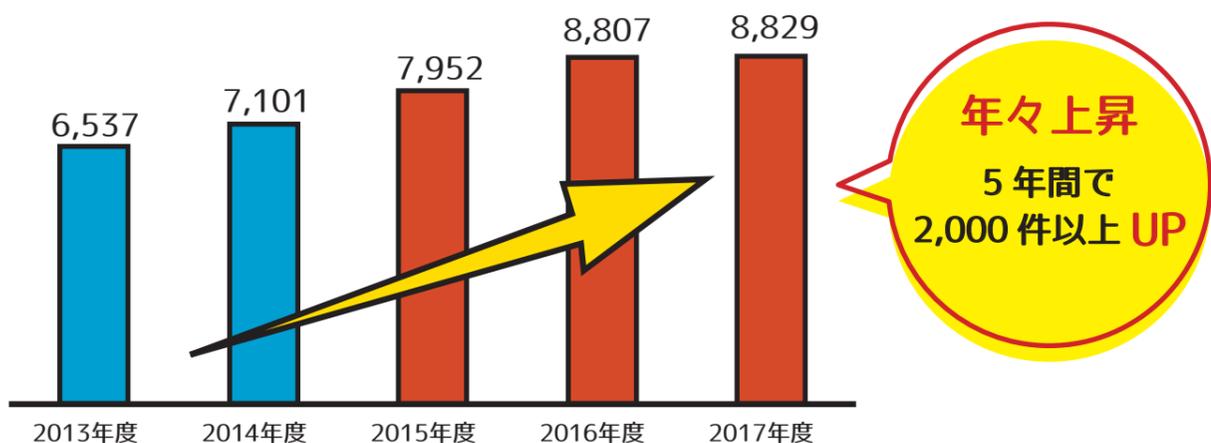


「超音波検査室の特長」

各臓器(肝臓、胆嚢、胆管、膵臓、腎臓、脾臓)に加え、生殖器、腹部血管、リンパ節および消化管(腹部食道、胃、十二指腸、小腸、大腸)の腹部疾患や体表疾患など様々な疾患が診断可能です。

急性腹症の原因疾患は、多岐に及びますが消化管疾患の頻度は高く、急性炎症、通過障害、腸管虚血、腸管穿孔を来す疾患はエコーで診断可能であり、消化器疾患以外にも泌尿器科や産婦人科疾患などの急性腹症も診断可能です。エコー検査は、感度、特異度、正誤率も高く、画像検査には侵襲も少なく簡便に行え第一選択となる検査です。**当院でも高い正誤率です!**

「腹部超音波検査件数の過去5年の推移」



臨床検査技師
日本超音波医学会認定
超音波検査士(消化器領域・体表臓器領域)

診療放射線技師
日本超音波医学会認定
超音波検査士(消化器領域・泌尿器領域)



「超音波検査室の1日」

- 出勤**
 - 8:00~ 外来患者さん予約検査
 - 12:00~ 入院患者さん予約検査
- 昼食** 13:00~
- 14:00~ 外来患者さん予約検査
- 帰宅**

緊急の検査依頼も受けています



同系法人施設での検査の応援も行います。



週3回 府中クリニックの応援



月2回 和泉診療所の応援

他施設からの研修や学生実習も受け入れています。

きかくしつ 企画室のおしごと

府中病院の企画室は、9名のスタッフが働いています。

事務職と言えば、受付や会計、外来などの医療事務をイメージするかもしれませんが。これ以外にも、施設整備や財務、地域医療連携など事務職の仕事は多くあります。この中でも、企画室は、地域医療を担う自分たちの働く病院が持続的に成長し続けるために、企画や戦略策定、医療の質評価、広報などの病院経営をマネジメントする仕事をしています。

「経営企画部門」



病院をより良くしていくために、病院の正確な実績を把握して病院経営や運営に携わっています。たとえば、経営課題に対するデータを分析したり、新しい取り組みを考えて提案したり、多職種とチームになって活動したりと、重要な役割を担っています。

また、地域の皆さんにより良い医療を提供できるよう、近隣の医療機関や消防機関などとの連携をはかっています。

経営企画部門の とある1日



データの分析・資料作成

出勤

10:00~

11:00~

昼食

12:00~

13:00~

16:30~

帰宅



消防署など公的機関との情報交換やご挨拶などで医師と一緒に外出



院長と管理部長と会議の事前打ち合せ



歯科衛生士さんと医科歯科連携の打ち合せ

「診療情報管理部門」



患者さんの治療やケアの記録に不備がないかカルテ点検を行っており、精度の高い記録が保存されるよう支援しています。そして、その診療データを集計・分析し、より良い医療を行うための改善指標（医療の質指標：クオリティ・インディケータ）として診療科や部署にフィードバックしています。

他にも、カルテ開示対応や、がん医療の充実をはかるためでもある「院内がん登録」、「がん診療支援事務局」、「クリニカルパスの整備」などの医療の質向上のための業務を幅広く行っています。

「広報企画部門」



主にホームページの管理や院内掲示物・各種パンフレットの作成、今ご覧いただいている院外向け広報誌「まごころふちゅう」の作成に携わっています。

他にも市民講座やクリスマスコンサート、オープンホスピタルなどのイベントに関わって情報を発信しています。広報のしごとは多岐に渡り、多職種のスタッフや患者さん、地域の方々と関わることもあります。

「府中病院の魅力」をたくさんの方々に知っていただけるよう広報活動しています。

こんなことも
しています！

クオリティ管理センターと診療情報管理部門が協同してQIポスターを作成しています。職員全員が「医療の質指標=QI」を意識して改善へ結びつけるように各部署に掲示し、QIが浸透するよう活動しています。



第10弾「職員のインフルエンザワクチン接種率」
第9弾「有給休暇取得率」
第7弾「職員満足度調査 in 府中病院」 など

病院の取り組み

府中病院が地域の皆さんに認めていただける「最高の病院」となるための取り組みや活動をご紹介します。

けつえき 血液検査の結果の見方、知っていますか？

医師から血液検査・尿検査の結果をもらったけれど、これってどういう意味?と思ったことはありませんか? 当院では外来患者さんの検査結果の見方を実際に検査を行っている臨床検査技師が説明させていただいています。

血液検査・尿検査のことで疑問や不安に思っていることがございましたら、西館地下1階生理検査室にお気軽に声をおかけください。

検査説明までの流れ

- ① 診察前に採血をする 
- ↓
- ② 診察を受ける
- ↓
- ③ 医師から検査結果報告書を受け取る
- ↓
- ④ 検査結果報告書をご持参のうえ、西館地下1階生理検査室に声をおかけください
- ↓
- ⑤ 臨床検査技師が説明いたします



検査説明の様子

Q&A

Q. 血液検査でどんなことがわかるの? 

A. 貧血の有無、肝臓・腎臓・心臓の機能、感染症の有無、腫瘍マーカーなど、様々なことがわかります。

Q. 基準値を外れていると病気なの? 

A. 検査を受けた人が病気であるのか、問題ないのかを判断するために参考となるのが基準値です。基準値を外れていたからといって病気というものではありません。正確な診断は基準値との比較だけではなく、病状や他の検査などを合わせ、総合的に行われます。

とぴっくす TOPICS

過去の行事開催報告



わくわくウキウキ 府中体験!

オープンホスピタル 2018

来場数 1,378 名

前回(2017年)を上回る大勢の方にご来場いただき、各イベントは大賑わいでした。スタッフも参加いただいたみなさんと一緒に笑顔で楽しむことができました。

2018.10.21

J:COMとFM 泉大津で 放送されました!



院長が取材されている様子



開場1時間前頃からお待ちいただいている様子

手術支援ロボット ダビンチの見学



手術室をのぞいてみよう



何が 見えるかな?

ミクロの世界



ドクターと一緒に内視鏡を体験しよう!

病院機能評価受審

2018.12.13-14

病院機能評価とは...

病院が医療を提供するための基本的な活動が、適切に実施されているかどうかを第三者が評価する仕組みです。評価の結果で明らかになった課題に対して、改善に取り組むことで、「医療の質向上」がはかられます。

本番前に最終チェック



模擬訓練の様子



院長の病院紹介



「病院機能評価」受審日の2日間があっという間でした。病院全体で「病院機能評価」に取り組むことができ、病院の特徴・活動を積極的にアピールすることができました。

急性期病院としてのお願い

当院には、救急車で搬送される患者さん、緊急に入院の必要な患者さん、他の医療機関からのご紹介で手術や精密な検査を行う患者さんが多数来られます。

当院は、このような重症患者さんを迅速に受け入れ、特に緊急の治療が必要な病気やケガに対して、急性期の医療を行っています。そのためには日ごろから入院用の空きベッドを準備しなければなりません。

こうした理由から当院では、病状が落ち着きましたら早期の退院、他院への転院、施設への入所をお願いしております。北泉州地域の救急用ベッドを、次に必要な救急・重症患者さんにご提供するために、ご理解とご協力をお願い申し上げます。



救急・重症の状態



府中病院で急性期治療

急性期治療が
落ち着けば



他院へ転院



ご自宅へ退院



施設へ入所

AIF 総合相談センター／がん相談支援センターのご案内

AIF 総合相談センターは、患者さんやご家族の皆さんの療養生活に関するご不安やご不明なことを各専門分野のスタッフが、皆さんと一緒に考えていく窓口です。また、当院は「大阪府がん診療拠点病院」であり、がんに関する治療や療養生活全般、地域の医療機関などについて相談することができます。何でもお気軽にご相談ください。ご相談をご希望の方は、AIF 総合相談センターのスタッフまでお申し出ください。

※患者さんの相談内容の秘密は厳守いたします。

◆ 相談時間：月～土曜日（祝祭日除く） 9：00～17：00

◆ 場 所：西館1階 総合受付横



府中病院の 基本方針

Excellent hospital
一最高の病院を目指す一

単に良い病院ではない、さらに良い病院でもない、
自他ともに認める最高の病院を目指します！

私たちの 理念

使命 愛の医療と福祉の実現

会是 地域と職員と共に栄えるチーム
Yu・ki・to・do・ku
ゆき届いたサービス

診察時間のご案内

[受付時間]

午前受付 8：00～11：45

午後受付 各診療科により異なります

[診療時間]

午前診療 9：00～

午後診療 各診療科により異なります

[休診日]

日曜日・祝祭日・年末年始



府中病院

〒594-0076 大阪府和泉市肥子町1丁目10番17号

Tel.0725-43-1234 <http://www.seichokai.or.jp/fuchu/>

府中病院広報誌「まごころふちゅう」Vol.7 / 2019年2月発行 編集・発行 / 府中病院 広報委員会

